




文字と発音

28文字しかないので、最初に文字を覚えましょう。





文字は子音しか表わせません(注:1番目の文字だけ例外)。

母音は a、i、u の3種類。それを表記するには、補助記号(「発音記号」とか「母音記号」、あるいはアラビア語で「シャクル」と呼ばれています)を使います。





母音 a を示す記号	母音 i を示す記号	母音 u を示す記号
		
文字の上に左下がりの斜線。	文字の下に左下がりの斜線。	文字の上に右回りで丸を書いて、左斜め下に伸ばします。

それでは、いくつか文字を書いてみましょう。

1番目の文字

	ローマ字 I(アイ)のように、線を上から下にまっすぐ引きます。文字をよく見ると、細いところや太いところがあり、少し傾いていますが、それはアラビア書道の書体だからです。
	文字の上に母音 a を示す記号をつけます。この1番目の文字だけ特殊で、これで「ア(a)」。
	文字の下に母音 i を示す記号をつけます。「イ(i)」。
	文字の上に母音 u を示す記号をつけます。「ウ(u)」。

2番目の文字

	<p>お皿を右から左へ書き、その下に点をつけ足します。 この文字は b。</p>
	<p>文字の上に母音 a を示す記号をつけると、$b + a = ba$ 「バ」。</p>
	<p>文字の下に母音 i を示す記号をつけると、$b + i = bi$ 「ビ」。</p>
	<p>文字の上に母音 u を示す記号をつけると、$b + u = bu$ 「ブ」。</p>

この調子で他の文字も書いてみましょう。

☆発音の確認は以下のサイトで、

<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/ara/lesson01.html>

iPhone、Android、iPad からは、

<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/wl/ar/index.html?page=arifuba>

☆Youtube の動画

文字の発音と口の動き(文字名、母音 a、母音 a-i-u)







<https://www.youtube.com/watch?v=KAFBT9VYjIo>



文字と発音(母音 a-u-i)

<https://www.youtube.com/watch?v=TnlARJ0DvmI>

<https://www.youtube.com/watch?v=KNHH8PbPVUk>






<https://www.youtube.com/watch?v=c0Vywywye34JM>

<p>ローマ字 i (アイ) のように、線を上から下に引きます。</p> <p>発音練習「ア・ア・ア・ア・ア・イ・ウ」。</p> <p>“I love a i u”</p> <p>أ (a)、إ (i)、أ (u)。</p>		1
<p>[b]</p> <p>お皿を右から左へ書き、その下に点をつけ足します。点はボール。ball の b。</p> <p>“お皿 ボール ba bi bu”</p> <p>ب (ba)、ب (bi)、ب (bu)。</p>		2
<p>[t]</p> <p>お皿の上に点二つ。two の t。</p> <p>“お皿 one two ta ti tu”</p> <p>ت (ta)、ت (ti)、ت (tu)。</p>		3
<p>[th]</p> <p>お皿の上に点三つ。three の th。</p> <p>“お皿 one two three <u>tha thi thu</u>”</p> <p>ث (tha)、ث (thi)、ث (thu)。</p>		4
<p>[j]</p> <p>平仮名の「て」に丸みをもたせ、真ん中に点をつけ足します。点はジャガイモ。ジャガイモの「ジャ(ja)」。</p> <p>“手にジャガイモ ja ji ju”</p> <p>ج (ja)、ج (ji)、ج (ju)。</p>		5
<p>[h]</p> <p>丸みをもたせた平仮名「て」。寒さでかじかんだ手に息を吹きかけるような音を喉から出します。</p> <p>“手にハー ha hi hu”</p> <p>ح (ha)、ح (hi)、ح (hu)。</p>		6

<p>[kh]</p> <p>丸みをもたせた平仮名「て」の上に点。点はコップ。上を向いて、うがいをします。</p> <p>“うがい ハー <u>kha khi khu</u>”</p> <p>خ (<u>kha</u>)、خ (<u>khi</u>)、خ (<u>khu</u>)。</p>		7
<p>[d]</p> <p>□ーマ字 D の縦線を省略。だるまさんの輪郭右半分。だるまさんの「だ(da)」。</p> <p>“だーるまさん da di du”</p> <p>د (da)、د (di)、د (du)。</p>		8
<p>[dh]</p> <p>前の文字の上に点をプラス。熊の輪郭右半分と帽子。英語の定冠詞 the (dha)。</p> <p>“the bear <u>dha dhi dhu</u>”</p> <p>ذ (dha)、ذ (dhi)、ذ (dhu)。</p>		9
<p>[r]</p> <p>片仮名の「ノ」。発音は巻き舌の r。文字は「ノ」、発音は「ラ」で、「ノラちゃん」。</p> <p>“ノラちゃん ルンルン ra ri ru”</p> <p>ر (ra)、ر (ri)、ر (ru)。</p>		10
<p>[z]</p> <p>前の文字の上に点をプラス。ノラちゃんが zzz といびきをかいています。</p> <p>“ノラちゃん zzz za zi zu”</p> <p>ز (za)、ز (zi)、ز (zu)。</p>		11
<p>[s]</p> <p>数字の「3」を横倒しにクルクル書いてからグルン。3 (サン)の「サ(sa)」。</p> <p>“サン クルクル sa si su”</p> <p>س (sa)、س (si)、س (su)。</p>		12

<p>[sh]</p> <p>前の文字の横書き「3」の上に点を3つプラス。汽車の「シャ(sha)」。</p> <p>“汽車 シュツシュツ sha shi shu”</p> <p>شَ (sha)、شِ (shi)、شُ (shu)。</p>		13
<p>[ʃ]</p> <p>首にマフラーを巻いてからグルン。あまりの寒さにブルブル震えながら言う「さーむーい」の「さ」(「そ」に近い)。舌の中央をくぼませ、舌の奥を持ち上げて発音します。</p> <p>“寒い ʃa ʃi ʃu”</p> <p>صَ (ʃa)、صِ (ʃi)、صُ (ʃu)。</p>		14
<p>[d]</p> <p>前の文字に点をプラス。あまりの寒さに怒り爆発(𐤎)。「さむいど」の「ど」。舌の中央をくぼませ、舌の奥を持ち上げて発音します。</p> <p>“寒いどー da di du”</p> <p>دَ (da)、دِ (di)、دُ (du)。</p>		15
<p>[t]</p> <p>滝壺を右回りで書いてから、落下する水の流れを描きます。気合を入れて「ター」「トー」。舌の中央をくぼませ、舌の奥を持ち上げて発音します。</p> <p>“気合で滝行 ta ti tu”</p> <p>طَ (ta)、طِ (ti)、طُ (tu)。</p>		16
<p>[z]</p> <p>前の文字に点をプラス。点は水しぶき。英語の定冠詞 the を、舌の中央をくぼませ、舌の奥を持ち上げて発音します。</p> <p>“水 ザザザ za zi zu”</p> <p>ظَ (za)、ظِ (zi)、ظُ (zu)。</p>		17

<p>[‘]</p> <p>ローマ字 E の筆記体。喉で「ア・イ・ウ」を発音。コツをつかむには、手で喉を締めつけて練習します。</p> <p>“E アイーン ‘a ‘i ‘u”</p> <p>عَ (‘a)、عِ (‘i)、عُ (‘u)。</p>		18
<p>[gh]</p> <p>前の文字の上に点をプラス。うがいの音 خ (kh)と同じ場所で「ガ・ギ・グ」を発音。</p> <p>“あひる ガーガー gha ghi ghu”</p> <p>عَ (gha)、عِ (ghi)、عُ (ghu)。</p>		19
<p>[f]</p> <p>右回りの丸に続けて、お皿を書き、丸の上に点を1つつけ足します。ファイトの「ファ(fa)」。</p> <p>“ファイト 一発 fa fi fu”</p> <p>فَ (fa)、فِ (fi)、فُ (fu)。</p>		20
<p>[q]</p> <p>右回りの丸に続けて、お椀を書き、丸の上に点を2つつけ足します。カラスの鳴き声。口の一番奥で発音します。</p> <p>“カラス カーカー qa qi qu”</p> <p>قَ (qa)、قِ (qi)、قُ (qu)。</p>		21
<p>[k]</p> <p>ローマ字 L の鏡文字と小さい s (逆 L + ミニ s)。靴の踵から靴底をなぞり、靴紐を結ぶ感じ。靴の「く(ku)」。</p> <p>“靴 買った ka ki ku”</p> <p>كَ (ka)、كِ (ki)、كُ (ku)。</p>		22
<p>[l]</p> <p>ローマ字 L の鏡文字に丸みをもたせます。英語の L。</p> <p>“ラーンララン la li lu”</p> <p>لَ (la)、لِ (li)、لُ (lu)。</p>		23

<p>[m]</p> <p>数字 9 の鏡文字。右回りで丸を書いてから下に伸ばし、音符の形にします。music の m。mmm とハミング。 “mmm ma mi mu”</p> <p>مَ (ma) 、 مِ (mi) 、 مُ (mu)。</p>		24
<p>[n]</p> <p>お椀を右から左へ書き、その上に点をつけ足します。梨の「な(na)」。</p> <p>“梨 おいしい na ni nu”</p> <p>نَ (na) 、 نِ (ni) 、 نُ (nu)。</p>		25
<p>[h]</p> <p>ローマ字 0 を右回りに書いて、涙の形にします。涙ハラハラの「ハ(ha)」。</p> <p>“涙 ハラハラ ha hi hu”</p> <p>هَ (ha) 、 هِ (hi) 、 هُ (hu)。</p>		26
<p>[w]</p> <p>右回りの丸(輪)に続けて、片仮名の「ワ」を書きます。輪「ワ(wa)」。</p> <p>“輪 ワワ wa wi wu”</p> <p>وَ (wa) 、 وَ (wi) 、 وَ (wu)。</p>		27
<p>[y]</p> <p>やかんの底をなぞり、その下に点を2つつけ足します。点は炎。やかんの「や(ya)」。</p> <p>“やかんの底 ya yi yu”</p> <p>يَ (ya) 、 يِ (yi) 、 يُّ (yu)。</p>		28